

(別紙1)

【東京2020レガシー枠について】

- 実行委員会の推薦により、決勝大会への参加を認める。
- レガシー枠で選考された学校は、今大会を象徴し、学生ボッチャ選手の模範的な姿を体現しているものとする。
- 予選にエントリーした学校のうち、以下の選考基準のいずれかに該当する学校を選考対象とする。
  - 学校内で生徒や教員と協力し、学年を問わず積極的に取り組んでいる。
  - 学業と部活動を両立しながら挑戦している。
  - 数年間にわたり参加しているものの、惜しくも決勝大会進出が叶わなかった学校。
  - 創意工夫した練習により成果を上げている。
  - 部活動以外の活動も含め、他の生徒や地域社会に良い影響を与えている。

➡ 「参加申込書」⑥にエピソードを記載すること。

【オープンの部】

- 結果に関わらず決勝大会には参加しないことを前提に、予選への参加を認める。
- 「オープンの部」は、提出動画による競技観察は行うが、ファールは原則として取らないものとする。
- 「競技の部」に参加している学校は「オープンの部」へ参加できない。
- オープンの部の参加資格は以下とする。
  - 小学生以上の障がいのある児童生徒
  - 肢体不自由のある児者を1名以上含むこと
  - 障がいの実態により、全国ボッチャ選抜甲子園のルールでの参加が難しい場合（例：ROと一緒にランプを調整する、自作の発射装置をランプに装着している等）も参加可能

---

【合同チームについて】

- 学校単位での出場に必要な人数が不足する場合、同一都道府県内の複数校による合同チームでの参加を認める。
  - また、総合型地域スポーツクラブに所属する生徒についても、同一都道府県内であれば合同チームとしての参加を認める。
  - ただし、以下のいずれかに該当する場合は合同チームとしての参加を認めない。
    - 合同チームを組もうとする選手の所属校が予選にエントリーしている場合
    - 競技の部にエントリーをする場合、合同チームを組もうとする選手が、中学生以上の肢体不自由者ではない場合
    - 合同チームを構成する学校（またはクラブ）が同一都道府県内でない場合
-